


Loopamp®

LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法

大腸菌O157 検出試薬キット

Escherichia coli O157 Detection Kit



- 食品中の大腸菌O157を翌日に検出することができます。

増菌培養後、抽出操作を含めて、わずか2時間以内で検出することができます。

- 大腸菌O157の 遺伝子を特異的かつ迅速に検出します。

大腸菌血清型O157由来の遺伝子を認識する、特異性の高いプライマーを使用しています。また、増幅効率の高いLAMP法により、反応は1時間で終了します。

- リアルタイム濁度測定装置で増幅から検出を1つのチューブで完了します。

専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を用いて、増幅から検出までを1ステップで行うことができます。また、電気泳動での検出を必要としないため1つのチューブで完了します。

大腸菌O157 検出試薬キット

Escherichia coli O157 Detection Kit

●本キットの製品概要

腸管出血性大腸菌 EHEC(Enterohemorrhagic *Escherichia coli*(*E.coli*))は、毒性の強いベロ毒素(Verotoxin;VT)を産生することからVTEC(Verotoxin-producing *E.coli*)と呼ばれています。この菌で汚染された飲食物等を介して経口感染し、出血性の下痢、腹痛、発熱などの食中毒症状を起こしますが、まれに溶血性尿毒症症候群(HUS)を併発し、死に至ることもあります。血清型としてはO157、O26、O111などが知られていますが、最も多く検出される血清型がO157です(IDWR2019年第23号より)。

Loopamp 大腸菌O157検出試薬キットは、抽出試薬で簡単に抽出した核酸を、血清型O157由来の遺伝子に特異的なプライマーで認識・核酸増幅させ、その増幅の有無から大腸菌O157の有無を判定します。

核酸増幅の検出は、増幅反応の副産物であるピロリン酸マグネシウム(白色沈殿物質)による濁度の増加を測定することによって行います。濁度測定には専用の「Loopampリアルタイム濁度測定装置」を用います。

●キット構成

大腸菌O157検出試薬キット

- [1]Extraction Solution for Foods(EX F)..... 1.8mL x 2 tubes
- [2]1M Tris-HCl:pH7.0(Tris)..... 1.0mL x 1 tube
- [3]2×Reaction Mix.(RM)..... 0.6mL x 1 tube
- [4]Bst DNA Polymerase(Bst DNA Polymerase)..... 60μL x 1 tube
- [5]Distilled Water(DW)..... 1.0mL x 1 tube
- [6]Primer Mix. O157(PM O157)..... 0.12mL x 1 tube
- [7]Positive Control O157 (PC O157)..... 0.1mL x 1 tube

()内は、試薬チューブに記載されている表示です。

●操作手順



※本キットシリーズの使用上の注意等詳細については、使用説明書をご参照ください。
 ※Loopamp リアルタイム濁度測定装置に関する内容は Eiken GENOME SITE (<http://loopamp.eiken.co.jp/>)をご覧ください。
 ※本キットに使用する反応チューブは、必ず専用の「Loopamp 反応チューブ」または「Loopamp 反応チューブD」をご使用ください。

●包装単位・貯蔵方法・有効期間・製品コード

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp 大腸菌O157検出試薬キット	48テスト分	-20℃	1年間	LMP631
	8×12 sets	室温	3年間	LMP901
8×120 sets	LMP905			
Loopamp 反応チューブ	8×12 sets	室温	3年間	LMP906
	8×120 sets			LMP907

※製品はWeb SERVE/e Genome Order(<http://genome.e-mp.jp/>)にてご購入いただけます。
 注)本キットシリーズは臨床診断の目的では使用できません。